

## 家族介護者にリフレッシュを

日本共産党  
まつおか  
松岡 光子



長谷川部長 家族会の実施を検討



▲家族介護者。リフレッシュできてる？

**問** 厚生労働省が作成した「家族介護者支援マニュアル」について、町の考えや事業計画は。

**答** 「家族介護者支援マニュアル」を地域包括支援センターに配布し、その内容の共有を図っている。介護者自身の生活と介護が両立できるような事業計画を立てている。

**問** 家族介護者の心身の負担軽減やリフレッシュできる事業の計画は。

**答** リフレッシュを目的とした事業は行っていない。令和5年度に策定する「播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」

**問** 学校給食費は国の責任で無償にすべきと考えるが、町で実施した場合の費用額と一般会計に占める割合は。

**答** 令和3年度の一般会計歳入決算額における町税の合計額は、55億8699万円であり、学校給食食材費総額は1億5148万円で、町税収入額の約2.7%になる。

**問** 令和4年度の2学期3学期の給食費は、地方創生臨時交付金を活用し無償化されるが、令和5年度の実施は。

**答** 令和5年度に無償化する予定はないが、保護者の負担軽減として、町内の小・中学校に在籍する第3子以降の給食費を無償化する予定である。

## 土山駅北地区の整備は

政風会  
ふじわら  
藤原 秀策



町長 住民との合意形成を図り検討



▲活用が待たれる土山駅北側の町有地

**問** 土山駅北地区の地籍調査の現状は。

**答** 令和4年度中には完了する見込みである。

**問** 町有地の有効活用を図るため、骨格道路の整備を進めるべきでは。

**答** 整備は必要と認識している。地域住民との合意形成を図り、検討していきたい。

**問** 公民館の建て替えについて協力し相談に応じるべきでは。

**答** 地域活動の拠点整備を目的に「自治会公民館施設整備事業補助金」がある。建て替えや改修、建築に際しては、実施の

**問** JR土山駅の立体化は反対である。実施する場合はどうなるのか。

**答** 現時点で予定はないが、事業化には、近隣自治体と広域で要望などが必要である。

**問** JR土山駅立体化は

**町長** 現時点で予定はない

**問** 都市計画マスタープランの方針の一つに、農地などの保全、活用を図るとあるが、市街化調整区域の廃止とどう整合性を図るのか。

**答** 地域特性に応じて自然環境との調和を図りながら、進めていく必要がある。今後の検討を行う上で、必要に応じて、都市計画マスタープランの見直しも考えている。

## ゼロカーボンシティ宣言表明を

日本共産党  
のぎた  
野北 知見



町長 宣言に向け取り組んでいる



▲地球温暖化対策を行政と住民の協働で

**問** 脱炭素社会に向けて、2050年までに二酸化炭素または温室効果ガスの排出量をゼロにすることを表明した自治体が増えており、兵庫県内でも18市町が表明している。本町でもゼロカーボンシティ宣言の表明を行うべきでは。

**答** 現在、宣言に向けて取り組んでいる。

**問** 温室効果ガスの削減には、再生可能エネルギー利用の促進が重要である。本町の取り組みは。

**答** 現在、家庭用太陽光発電システムの設置に

**問** ジェンダー平等社会への政策の一環として、多様な性のあり方を尊重する、パートナーシップ宣言制度を導入する自治体が急速に増えている。本町での制度導入についての考えは。

**答** 多様な性のあり方を認め合い、誰もが自分らしく生きることができ、社会の実現に向けて、先進地事例等を参考に、当事者の方の負担軽減が図れる制度導入に向けた検討を進めていきたい。

**問** その他の質問

核兵器廃絶のまち宣言の取り組みは

## 不登校の居場所づくりは

無所属  
おおきた  
大北 良子



町長 公共施設などの活用を検討



▲コミセンなどを活用した居場所づくりを

**問** 令和3年12月定例会でも一般質問をしたが、現在、不登校の児童生徒数は全国で24万人を超え過去最多となった。適応指導教室を分散化し居場所づくりをする必要があるのでは。

**答** 町内のコミュニティセンターをはじめ、公共施設などの有効活用について検討していきたい。

**問** 民間委託でフリースクールを開設するための調査をしてはどうか。

**答** 近隣市町においても公設民営の実証研究が始まっている。情報共有や連携協力を進めたい。

**問** 悩みを抱える児童が低年齢化し、不登校予備軍となるケースも考えられる。対策の検討は。

**答** 学校は子どもや保護者に寄り添うとともに、スクールカウンセラーなどを活用し、早期発見や早期対応に努めたい。

**問** こども園の給食費支援は

**町長** 保護者で負担を

**問** こども園では給食が提供され、幼稚園に通っていた方には給食費の負担が増えるが支援は。

**答** 給食費を独自で補助する自治体もあるが、本町では国の考え通りに保護者に負担していただく。

**問** 給食の牛乳の量が少ないので、検討を。

**答** 必要な栄養、エネルギー量を計算し安全安心でおいしい給食を提供していく。

**問** その他の質問

播磨町駅前の活性化をシティプロモーションは